

男鹿市ジオパーク学習センターだより 2017・8月



ジオパーク夏休み教室「昆虫の樹脂標本づくり」

子どもたち 34 人が挑戦

男鹿市ジオパーク学習センターでは、8月4日にジオパーク夏休み教室を開催しました。今回のテーマは「昆虫の樹脂標本づくり」。当日はエポキシ樹脂の主剤と硬化剤を一定の割合で混合させ、よく混ぜ合わせます。その後、昆虫が入ったケースに注入すると2～3日後に標本が完成します。参加者は児童・幼児含めて34人が参加、父兄18人もいっしょに参加し会場は熱気に包まれました。子どもたちは手袋とマスクをし研究者になりきっています。作業においては細心の注意が必要なため子どもたちは真剣そのもの。全員が見事に作業を終え会場内には笑顔と達成感が広がりました。その後、昆虫の体や生態などについて学習しました。当ジオパーク学習センターの夏休み・冬休み教室は毎年開催されており、今回も予定人数を大きく超える申し込みがありました。

愛知県春日井市の子どもたち

ジオパーク学習センターで「液状化現象実験」など体験

男鹿市と交流を深めている愛知県春日井市の小学6年生らが8月3日から3泊4日で男鹿市を訪れ、4日にはジオパーク学習センターを訪れ、男鹿半島・大潟ジオパークの地層や防災について学習しました。恐竜が地球を闊歩していた約7000万年前の地層が男鹿半島で観察できることにはびっくり。地震発生時の液状化現象の実験では、マンホールが地面から飛び出したように見えることからその様子をしっかりと観察していました。また火山噴火実験では噴火の迫力を知り、日本列島に活火山が多いことなどについて熱心にメモを取っていました。



夏休みの自由研究は、ジオパーク学習センターへ

夏休みの自由研究にジオパーク学習センターを訪れる子どもたちが増えています。写真（左）は学習センターを会場にして行われた男鹿市船越公民館主催の「男鹿半島の岩石と貝の標本づくり」です。ジオパーク学習センターには連日、男鹿半島・大潟ジオパークから新しいテーマを探して自由研究をしようと子どもたちが訪れ、展示物を観察したり学習センターの説明員に質問をしたりしています。また学習センターには様々な体験学習も用意していますのでお気軽に説明員に声をお掛けください。

男鹿市角間崎字家ノ下 452 男鹿市役所若美庁舎 2 階/ 男鹿市教育委員会生涯学習課 ☎0185・46・4110